

新発田市 令和5年度 第7回定例記者会見

- 1 日 時 令和5年10月3日(火)午前11時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内 容

【市長発表項目】

○新型コロナウイルスワクチン接種健康被害救済制度国進達者見舞金制度について

健康被害に苦しむ市民の皆様を励ます県内初となる取組を周知したい。

○がん患者医療用補整具購入費助成事業の開始

がん罹患後も自分らしく生活するための支援として、県内トップクラスとなる助成事業の開始をPRしたい。

○しばた事業所ウォーキングチャレンジ 参加大募集！

働き盛り世代の健康意識の向上を目指し、「会社のPR権」というユニークなインセンティブを設けた取組を周知したい。

○3年ぶりに“新潟ーソウル線”就航再開！

海外からのインバウンド誘客に取り組む本市にとって念願の就航再開と、初便搭乗者の本市誘致、空港への出迎えをPRしたい。

○台湾からの御一行様が新発田を訪れ、産業振興交流を行います！

台湾から多くの実業家が来市することから、当市の米オーナー制度や市内事業者との商談会などを実施する取組をPRしたい。

○シバたいちじくフェアを開催！！

農業を基幹産業とする本市において新たなブランド化を目指す「いちじく」を盛り上げるフェアの実施をPRしたい。

【その他】

- 新型コロナウイルスワクチン秋開始接種を開始しています
- 子育て支援アプリ「きらりん☆しばた(by 母子モ)」配信スタート
- 水道まつりの開催について
- 令和5年度新発田市消防団総合消防訓練
- 環境エコカーニバル～未来の環境をみんなで考えよう！～
- 第52回新発田市美術展覧会(市展)と第51回幼児、小・中学校美術展(市ジュニア展)一次展開催
- 村松崇継 Piano Sings 2023
- めざせ100彩 紅葉ウォーク
- 第52回 全国うまいもん横丁 を開催します！
- 新発田ブースを出展します。(第52回 全国うまいもん横丁)
- 蔵春閣開館記念事業 箏の調べ in 蔵春閣

あいさつ

○朝晩は少し寒さを感じますが、過ごしやすい季節になりました。少し前までの猛暑が嘘のような気がします、これからの行楽シーズンに向けてしっかりと対応していきたいと思います。

○現在、議会開会中であります。昨日、決算審査特別委員会が開かれ、おかげさまで、賛成多数ということで、令和4年度の決算は認定をいただいたところであります。広島県の安芸高田市では、令和4年度の決算が否決に終わったというニュースがありました。市長と議会がもめているようで、大変残念なことだと思っております。民主主義における政治というのは、妥協なしでは成り立ちません。信条や政策を相手に譲るという行為がなければ成立しないわけです。それには我慢することや辛抱することが求められます。議員は、市民から付託を受けて、選挙で選ばれるので、市民に対して責任を負うことが大事で、市長に対して責任をとということでは決してありません。ましてや議場での秩序保持権は、議長にあって市長にはないわけです。新発田市議会は、市民に向けてもしっかりとやっていただいていますし、我々もしっかりとチェックを受けているということです。先般の戦略会議で職員に、新発田市が他の団体よりも優秀だと私が認めるのは、一因に議会からチェックを受ける緊張感が君たちを優秀な組織にしているということを忘れないようにと改めて言いました。今回、他市の状況を見て、私も議会人であったし、今市長という立場であります、その目線から見ると民主主義において大事なことは、相手に敬意を払うという土俵が一つでなければ、なかなか議会というのはいかないと改めて思いました。新発田市議会の今のありように対して大変感謝をしています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「新型コロナウイルスワクチン接種健康被害救済制度^{くにしんたつしゃ}国進達者見舞金制度」の創設についてです。

○新型コロナウイルス感染症については、5類移行後も感染者数の増加が続いています。高齢者や基礎疾患を有する方など重症化リスクの高い方に感染させないよう、市民の皆様には、基本的な対策の継続をお願いいたします。また、先月20日に始まった秋開始接種についても、接種するかどうか、ご自身で適切に判断をお願いしたいと考えています。

○さて、新型コロナワクチンについては、残念ながら、接種後、健康被害を訴え出る方が全国的に増加しており、当市でも、これまでに6名の方が国に救済制度の申請を上げておられます。しかしながら、案件が集中しているためか国の審査は遅々として進まず、申請された方を長らくお待たせしている現状に、私自身、忸怩たる思いを抱いておりました。

○そこで、県内初の取組として、国に救済申請を行う方を対象に、2万円の見舞金を給付する制度を独自で実施することといたします。

○健康被害の救済について責任を負うべきは国であることに変わりはありませんが、市としてできることといたしまして、救済申請に当たって別途必要となる診断書など準備費相当額の見舞金を支給し、少しでも、苦しんでいる方への「励まし」になれば、と願うものです。

○いずれにいたしましても、今なお、ワクチン接種後の健康被害に苦しんでおられる方々が、一日も早く体調を回復されますよう、心よりお祈り申し上げます。

次に、「がん患者医療用補整具購入費助成事業」の開始についてです。

- 日本は、2人に1人が「がん」に罹患する世界トップクラスの「がん大国」と言われており、当市における死亡原因の第一位も「がん」であります。しかしながら、近年は、医療の進歩により、がん治療を続けながら、社会生活を送ることのできる方の数も格段に増加してきました。
- その一方で、抗がん剤をはじめとする薬物療法の副作用による外見の変化、外科治療による傷跡などが、社会生活へ戻る大きな障壁となっているとの声も最近聞かれるようになり、「健康長寿のまち しばた」を実現すべくオールしばたで取り組んでいる当市にとって、新たな課題の一つとなっております。
- そこで、がん罹患後も「自分らしくいきいきと」生活していただけるよう、経済的支援として医療用ウィッグや胸部補正具等の購入費助成事業を新たに実施いたします。
- この取組は、近年、自治体間で広がりを見せており、県内では、昨年度から長岡市が、今年度から新潟市など4市が助成を開始していると聞いておりますが、当市も負けてはいられません。本年4月に遡って適用することとし、「県内第2グループ」に追いつきたいと考えています。
- 補助内容についても、医療用ウィッグ・胸部補整具等それぞれにつき1人1回の助成を可能とするなど、県内でもトップクラスの充実度といたしました。私自身、過去にがん治療を行った経験も踏まえて、現在、身体的・精神的に苦しんでおられる皆様の負担を少しでも和らげられるよう、精一杯、取組を進めてまいります。

次に、しばた事業所ウォーキングチャレンジ参加大募集！についてです。

- 当市では、「めざせ 100 彩」を合言葉に、「健康長寿のまち しばた」の実現を目指し、「望ましい食習慣の確立・定着」、「運動習慣の定着」、「健康管理の定着」を三本柱に、市民の健康づくりを推進しています。その更なる推進のカギは、働き盛り世代の皆様に、いかに自らの健康に関心を持っていただくかという一点に尽きると言っても過言ではありません。
- そこで、働き盛り世代へ直結するアプローチとして、健康づくり無関心層を巻き込んでいくことを可能とした、事業所・企業一丸となって取り組む健康イベントである『しばた事業所ウォーキングチャレンジ』を新たに実施します。
- 市にとっては、超高齢化社会の到来に先駆け、現在の働き盛り世代へ働き掛けることは当然であります。一方の事業所にとっても、2040 年問題と言われる生産年齢人口の急激な減少、深刻な労働力不足への備えとして、従業員の健康づくりを積極的に背中押しすることは、貴重な労働力の持続だけでなく、“健康経営”の取組にもつながり、ひいては事業所のイメージアップや人材確保にもつながると考えています。
- 更には、事業所への後押しとして、市が掲げる目標歩数を達成した事業所のうち、抽選を経て決定する 2 事業所には、広報しばた^{うらびょうし}裏表紙、有料広告枠への無料掲載などもご用意しており、まさに、官民連携による健康づくりの新たな一歩として多くの参加を期待しています。

次に、3年ぶりに“新潟ーソウル線”就航再開！についてです。

- 報道でもありますように、10月31日から大韓航空の「新潟ーソウル線」の定期便が就航再開し、いよいよ韓国からのインバウンドが再開いたします。
- 韓国には当市の友好都市である議政府市があり、スポーツ交流などで大変親交を深めております。先般、8月にも議政府市長をはじめ、沢山の議政府の方々に当市へお出でいただいたところですし、明後日、5日には、議政府市が市に昇格して60周年ということで、記念式典へ職員が訪韓する予定であります。
- その韓国では、ゴルフが大変人気のあるスポーツとなっております。韓国の皆様には、新潟空港から最も近く、月岡温泉にご宿泊いただきながら市内5つのゴルフ場をお楽しみいただける当市の環境に魅力を感じていただいております、当市としても今後ますますのインバウンド誘客に期待しているところであります。
- 「人のインバウンド」を産業の重要政策に位置付けている当市におきましては、今回の韓国便就航再開の情報をいち早く掴み、早速、職員による現地旅行エージェントセールスを実施いたしました。その結果、就航初便から、当市への誘客が実現いたしました。
- 当市のゴルフ場でのプレーはもちろんのこと、新発田産の美味しい食材をお楽しみいただき、月岡温泉で汗を流していただきたく、たくさんの韓国の皆様を新発田市は心からお待ちしております。
- そして、就航初便で来日される皆様に歓迎するため、新潟空港では、市職員や月岡芸妓、新発田のゆるキャラが横断幕を掲げてお出迎えいたします。こちらも是非報道に採り上げていただきたいと思います。

次に、台湾からの来訪者との産業振興交流についてです。

- 新潟ーソウル便の再開に続き、台湾からも嬉しいニュースが入っております。今回、台湾フランチャイズ協会の名誉会長が 40 人もの実業家を引き連れて当市へお出でいただくこととなりました。
- 市内事業者にとっては、台湾に向けた新たなビジネスチャンスとなりますので、商工振興課、観光振興課、農林水産課の、新発田市の産業関係3課を挙げてサポートを進めてまいります。
- 当市へお出でいただく皆様は会社社長などの実業家が多く、新発田市での新たなビジネスチャンスも探し求める傍ら、新潟マラソンに参加するそうであります。当市としましては、オーガニック SHIBATA による米オーナー制度の説明会や、札の辻での物産展・商談会などを開催し、マッチングを図ります。
- また、この間、月岡温泉での宿泊、米・日本酒・新発田牛等の当市きつての食によるおもてなし、そして、蔵春閣等の観光施設への案内によって、オンリーワンの魅力を発信することで、リピーターとして、また、新たなご友人なども引き連れて、再訪していただくことも期待しております。
- 最終日には、私が市長室でお迎えし、今回のご縁を記念した写真撮影などを行い、思い出に残る旅にさせていただきたいと思います。

最後に、「SHIBATA ICHIJIKU FAIR(シバタいちじくフェア)」の開催についてです。

- 今年も、新発田が誇るいちじくの季節がやってきました。いちじくの中でも、当市で生産される「蓬萊柿^{ほうらいし}」は果肉が柔らかく甘味が強いという特長があり、昔から多くの菓子店舗で蓬萊柿を使ったお菓子が多く作られています。
- 「シバタいちじくフェア」は3年目を迎えますが、初年度から大変好評であり、市内の直売所をはじめとして新発田産いちじくが一時品薄状態になるほどであります。みなさまには、ぜひ、新発田自慢のいちじくをご堪能いただき、幸せなひと時を過ごしていただければと思います。
- この「いちじく」が、新発田の秋の定番と、皆様にお認めいただけるよう、大いに盛り上げてまいります。そして、新発田には、「いちじく」、「新発田牛」、「いちご」、「アスパラガス」、「コシヒカリ」、「地酒」など、四季折々の美味しい食材がたくさんありますので、先ほどの海外からのお客様をはじめ、県内外からの多くの皆様がいつ訪れても楽しめるまちを目指してまいります。
- 本日は、いちじくフェアの委員会の担当者が来ておりますので、フェアの詳細について説明いただきたいと思います。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。